

第3学年 国語科 学習指導案

日 時 平成16年10月13日(水) 5校時

学 級 中学校3年 (2名)

指導者 八重樫 真貴子

1. 単元名 情報社会を見つめる 「パソコン通信というコミュニケーション」

2. 単元について

(1) 教材について

本単元は、「マスメディアを通じた現実世界」「パソコン通信というコミュニケーション」の二つの文章からなる「生活を見つめ、自分の考えを確かめよう」立場を決めて討論する「メディアとのかかわりを見直そう」学習の成果を意見文にまとめる「わたしたちの未来を考えよう」の三教材から構成される。

「マスメディアを通じた現実世界」は学問的な研究成果を背景にした論説文、「パソコン通信というコミュニケーション」は生活実感に即したエッセイで、どちらもだれもが経験しうる具体的な事例をもとに見解が述べられている。これらの文章を「情報社会を見つめる」ための糸口とし、内容理解のみに終わらず、情報を受け取る立場、また発信する立場で必要なことなどを考える出発点となるように出会わせていきたい。

(2) 生徒について

二人とも、与えられた課題にまじめに取り組むことができる生徒である。しかし、二人で学習しているために競争心が少なく、お互いに遠慮し、積極的に自分から答えを言ったり、質問するということが少ない。また、自ら課題を見つけて学習するという積極性に欠ける。昨年度は、「朗読」の練習をする場面などにおいて、お互いの頑張っている点を評価し、それを刺激として、高め合う場面を設定し、「朗読」に関してはある程度の自信をもたせることができた。この単元においても、それぞれの学習の具体的な目標をもたせ、それを達成することにより、自信をもたせ、積極的に学習に取り組む姿勢を培いたい。

(3) 指導の構想

二つの文章と、学習の成果を意見文にまとめる「わたしたちの未来を考えよう」という教材から、「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の力を総合的に伸ばすとともに、「情報社会を見つめる」というテーマについて自分の考えを深めるために読むという目的意識のもとに、筆者の論を自分の生活実感と照らし合わせ、共感したり、ときには批判的に検討したりする主体的な読みの姿勢を培いたい。

3. 単元の目標

(1) 関心・意欲・態度

- ・ メディアとのかかわり、有効な活用について興味・関心をもち、自分の体験と照らしながら文章を読み進めようとする。
- ・ 意見交換するなかで、自分の考えを広げ、深めようとする。

(2) 読むこと

- ・ 文章の展開に即して筆者の考えをとらえることができる。(読イ)
- ・ 文章を読んで、情報やメディアなどについて考え、自分の意見をもつことができる。(読工)

(3) 話す・聞くこと

- ・ 相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って展開するよう、話したり聞いたりすることができる。(話・聞工)

(4) 書くこと

- ・ 自分の考えが明確に伝わるように、展開や構成を工夫して書くことができる。
(書工)

(5) 言語事項

- ・ 相手や目的に応じて文章の形態や展開の違いがあることに気づくことができる。
((1) 工)

4. 単元の指導計画 (9時間扱い)

第一次

単元の学習のねらいを確認をし、課題設定をする。 1時間

第二次

「マスメディアを通じた現実世界」の内容を読み取る。 2時間

「マスメディアを通じた現実世界」の筆者の主張を読み取り、
自分の考えをまとめ、意見交換する。 1時間

第三次

「パソコン通信というコミュニケーション」の内容を読み取る。 2時間

「パソコン通信というコミュニケーション」の筆者の主張から、
自分の考えをまとめ、意見交換する。 1時間(本時)

第四次

筆者の主張から考えたことをもとに意見文を書く。 2時間

5 . 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ 筆者の主張について、 自分の体験などに基づいて考えることができる。
- ・ クラスメートの発表を聞いて、自分の考えを深めることができる。

(2) 指導の構想(本校研究テーマとの関わり)

- ・ 本時の導入では筆者の見解に対する別の例を挙げながら筆者の主張を説明することによって、学習課題に対する意識を高めたい。
- ・ 展開では、「マスメディアを通じた現実社会」での筆者の主張に対する自分の考えをまとめる学習のしかたを振り返らせ、本時学習の見通しをもたせたい。また、自分の考えをまとめる際には、時間を保障し、筆者の主張に対する自分の立場を明確にさせ、その理由となる見解を整理させるため支援をする。

(3) 具体の評価規準

	話すこと・聞くこと	
評価規準 (B の状況の 具体的姿)	お互いの説明を聞き、考えを深 めている。 (評価)	自分の考えをわかりやすくまとめ 発表している。 (評価)
A の状況の具 体的姿	お互いの考えを広めたり、深め たりする発言をしている。	根拠を明確にしたうえで自分の意 見をまとめ発表している。
C の状況への 手だて	メモをとり、自分の意見と相手 の意見を比較し、違いなどを考え るようにアドバイスする。	内容の読み取りの段階で話題にな ったことを振り返らせて、意見をま とめ、発表する際の参考とさせる。

(4) 展開

段階	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
見 つ る 15 分	1. 個人の学習課題を確認する。 2. 前時の学習内容を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「マスメディアを通じた現実社会」の学習で「次回頑張ること」として確認したことを振り返らせ、各自具体的な課題になっているか確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮説 1 教師が筆者の見解に関わる別の例を挙げながら筆者の主張を説明することによって学習課題に対する意識を高める。 </div>
追 究 す る 30 分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 筆者の主張を、自分自身の体験に基づいて考えてみよう。 </div> 3. 筆者の主張を理解するために、具体的な例をあげて説明する。 4. 筆者の主張に対する感想を発表する。 5. 最後の段落に述べられている筆者の主張についての考えをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主張と結びつく体験を発表させる。 ・ 体験をもとに主張の内容を見直す。 ・ 体験を例にしながら自分の言葉で説明する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮説 2 筆者の主張をさらに理解し自分の考えをまとめる学習のしかたを出させ、本時学習の見通しをもつ。 </div> <p>(評価)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px; text-align: center;"> について生徒の説明、感想で評価 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮説 3 プリントを使ってまとめる時間を保障し筆者の主張に対する自分の立場を明確にさせ、その理由となる見解を整理させるための助言をする。 </div> <p>(評価)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px; text-align: center;"> についてプリント記述、発表で評価 </div>
ま と め る 5 分	6. 本時学習を振り返り、自己評価をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリントで自己評価させる。

